花咲徳栄高等学校版

〒347-8502
加須市花崎519番地
0480(65)7181

保護者対象 アクティブラーニング公開授業・CaFeメシ 実施

保護者にむけた公開授業が、10月1日、本校の各教室において行われた。対象となったのは全学年の3時限目の授業で、保護者には科目や学年の枠にとらわれず、自由に教室を見学していただいた。4年目の取り組みとなったアクティブラーニングの様子や生徒の日頃の活動を直にご覧いただいた。生徒の中には緊張した様子の者も見られたが、次第に表情も和らぎ、積極的に授業に参加していた。

公開授業の後には、食育実践科の生徒が作った「CaFeメシ」が振る舞われ、保護者165名が舌鼓を打った。不足しがちなカルシウムや鉄分を補うことを目的にしたこの日のメニューは、鶏飯を中心にモロヘイヤや大豆など、野菜も多く取り入れた栄養満点なものであった。

アクティブラーニングや食育など、本校の教育をご理解いただいたと同時に、生徒一人一人の成長を感じられた一日となった。

入試本番に向けて センター試験説明会

3年生の大学入試センター試験志願者を対象にセンター試験要項説明会が9月5日、本校記念会館にて行われた。今回のセンター試験の志願者は350名を超え、過去最多であった。説明会では北野進学指導科長補佐から、受験の成功に向けての激励があり、その後志願票の記入方法や科目選択、センター利用入試のしくみなどの詳細な説明があった。生徒たちは配布された要項を手に、その説明にしっかりと耳を傾けていた。

説明会終了後の生徒たちからは、センター試験に向けての緊張感とやる気に満ちあふれた強い決意が感じられた。来春にはそれぞれが描く進路目標を達成し、立派に成長して本校から巣立つことを心から願っている。

現役大学生とともに 埼玉大学連携講座

第2学年理数選抜クラスの生徒を対象にした埼玉大学連携講座が9月24日・10月1日に埼玉大学にて実施された。本講座の目的は大学で行われている実験を経験し、それを心理設計の一助にする事であり、毎年この時期に実施される。

24日は「λファージDNAの制限酵素による解析」が実施された。λファージのDNAを制限酵素で切断し、それを電気泳動することで解析した。

1日は「マーガリンとバターの違いは何か」をテーマに比較実験を行った。冷蔵庫から取り出してすぐに使えるのがマーガリン、使えないのがバター。この違いを生み出している脂質をガスクロマトグラフィー解析で明らかにした。

両日とも普段の授業では目にすることのない実験器具や装置を扱うことで、科学に対する生徒の興味が一層深まった。

本番の入試を体感する 第1回アチーブメントテスト 実施

中学3年生対象の第1回アチーブメントテストが9月11日、本校にて行われた。入試本番さながらの雰囲気で学力判定試験を体験できるプログラムで、約700名の参加申し込みがあった。

国語・英語・数学の3科目の試験を実際の入試に則した形式で行う。参加者は緊張した面持ちで本校を訪れ、一生懸命に試験に取り組んでいた。試験と試験の間にある休憩時間に、参考書やノートを開いて勉強に励む者も見られた。

第2回アチーブメントテストは、11月3日を予定している。

中学生対象 食育実践科体験

中学3年生対象の食育実践科体験が9月10日、本校実習室・試食室で行われた。28名の中学生が来校し、「巻き寿司」の調理実習を行った。

巻き寿司を調理するのは初めてだという中学生が多かったが、デモンストレーションの一挙手一投足を食い入るように見つめ、具材をほどよい大きさに切る、巻き簀を使って上手に丸く握るなどを学んでいた。実習後は、自分たちで作った「巻き寿司」を「海老しんじょのお吸い物」と一緒に試食し味を確かめていた。試食時には、中学生・保護者に向けて、本校生徒が食育クイズを行うなどのレクリエーションを行い大いに盛り上がっていた。

栄北高等学校版

〒362-0806
北足立郡伊奈町小室1123番地
048(723)7711

第17回 栄北高祭 ヒカリ「希望～青春を駆け抜けろ～」

第17回栄北高祭が、9月17日、18日に行われた。今年のテーマは「希望～青春を駆け抜けろ～」。このテーマには、一生に一度しかない青春を光り輝くものにしようという生徒たちの思いが込められている。

開会式では山本末一校長から、本校の文化祭は仲間と心を一つにする場であり、人格形成の場でもあるという内容の講話があった。山本校長は、一人ひとりが積極的に取り組み、社会で活躍できる人間になるための礎を築いてほしいと生徒たちに語りかけた。

17日の「学びの時間」では、理科同好会と1、2年生代表グループによる「伊奈町活性化プロジェクト」の発表があった。理科同好会は「空想の世界を現実で考えてみた」というテーマで、漫画やアニメの中で起こっていることを科学的に分析した。

それに続く1、2年生代表は、キャリア教育の成果として、伊奈町の魅力をビジネスに繋げていくためのプランを発表した。大宮と伊奈町をつなぐニューシャトルを通勤通学だけでなく休日にも利用してもらうためのプランや、伊奈町特産のバラやフルーツを活用したビジネスプランなど、柔軟な発想による企画が次々と提案された。来賓として招待した伊奈町観光協会の事務局長や商工会会長からは、具体的な取り組みに向けての助言や激励を受けた。

18日は小雨の降る中での一般公開となったが、来場者数は三千人を超え、模擬店の集まるコンコースは活気にあふれた。体育館では書道部やダンス部、空手部のパフォーマンスが繰り広げられた。校舎内には、生徒会が企画したアトラクションや被災地の特産物販売をはじめ、各学年、各クラス、各部活動の趣向を凝らした展示やイベントが集まり、生徒たちは「おもてなし」の心で来場者を迎えていた。

ライフル部 島田選手 ジュニアオリンピック 銅メダル

ライフル射撃の「ISSFジュニアワールドカップ」が9月16日から22日にかけてアゼルバイジャンのガバラで開催され、普通科3年11組の島田敦選手が日本代表として出場し、見事に個人で銀メダル・団体で銅メダルを獲得した。

現在日本記録保持者である島田選手は、8月に韓国で開催された東アジアユース大会で優勝するなど、東京オリンピックでメダル獲得が期待される逸材だ。今大会においても期待通りの活躍を見せた。予選を2位で通過し、上位8名による決勝に進出。その決勝では、チェコやインドの選手と熱戦を繰り広げ、残り一発の段階で1位であったが、最終弾で逆転されて銀メダルに終わった。

悔しい結果となった反面、世界で戦える手ごたえを掴むことができた。来月からはナショナルチームのメンバーとなり、世界に戦いを挑む。4年後、地元の埼玉県で開催される東京オリンピックライフル射撃競技でのメダル獲得に向けて、その視界は良好だ。

―リオから東京へ―貴重な講演会

文化講演会が9月8日に全校生徒を対象に開かれた。今回は衆議院議員・前文部科学大臣の馳浩先生を招いた。馳先生は星稜高等学校で国語教諭として教鞭をとり、退職後はレスリングの経験からプロレスラーに転身した。1995年に石川県の参議院議員選挙に立候補し、見事当選を果たし、また2000年には衆議院議員選挙として立候補、当選し、最近では文部科学大臣を歴任するなど多方面にわたり活躍している。

講演内容は「リオから東京へ（文化の継承）」ということで、国会議員であることの意義の話から始まり、リオオリンピックの現状や、2020年の開催地として東京オリンピックを勝ち取った背景など普段メディアではあまり取り上げられないような詳細まで語られた。スポーツは「する・観る・支える」の3つの柱から成り立っているとし、オリンピックを通して国家間同士の相互理解・融和を実現するためにボランティアなどに積極的に参加して欲しいと話があった。

現国会議員である馳先生の熱心な語りに生徒たちも真剣に耳を傾け、有意義な時間を過ごすことができた。

文部科学省実践研究指定校としてスタート

本校は「①コミュニケーション能力②論理的思考力③シチズンシップ（主権者意識）④主体性⑤実社会への関心」の5つの目標を掲げて、キャリア教育を推進している。

本年8月、文部科学省より「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究」指定校に選ばれた。伊奈町の役場・選挙管理委員会・企業・観光協会・商工会と連携した2年間にわたる学習プログラムをスタートさせた。

伊奈町の地域振興を目的として、1年目はビジネスモデルの作成、2年目は政策立案・マニフェストの作成を行う計画である。

伊奈町企業訪問

文部科学省実践研究指定校に選ばれた本校は、伊奈町で企業活動を行う現状を企業の方から直接伺うべく、8月29日・30日の両日、1・2年代表生徒による伊奈町企業訪問を行った。

訪問先は、埼玉新都市交通・昭和技研工業・モリタ東京製作所の3企業だ。

埼玉新都市交通では会社の沿革について説明を受け、その後通信司令室、車両基地を見学した。

見学後に質疑応答の時間がとられ、生徒たちは社会で求められる人物像やニューシャトルの延伸などについて質問していた。

昭和技研工業では会社の沿革、工場の環境保全の取り組み、主商品であるパールジョイントの説明を受けた。

工場見学後の質疑応答では、伊奈町でビジネスを展開するメリットや、社長に求められる資質について、生徒たちは熱心に質問した。

設立100周年となるモリタ東京製作所では、会社の沿革、そして主商品の歯科医療機器について説明を受けた。

工場見学では、歯科用治療台が完成するまでの工程を見ることができた。

これらの企業訪問を通じ、生徒たちはビジネスの現場を実感することができ、非常に有意義な学習の機会となった。

FVイーストジャパン株式会社はフルラインナップの自動販売機を通じてお客様にサービスを提供できる会社です。
コカ・コーライーストジャパングループ FVイーストジャパン株式会社 担当支店 浦和支店 住所 埼玉県さいたま市桜区上大久保896 TEL 0800-919-0509

埼玉県さいたま市見沼区東大宮四―二一―二
有限会社 ヤマザキスポーツ
電話 〇四八―六六六―一八四三
FAX 〇四八―六六六―一八四七

電気設備 設計・施工
感謝 Fujino
藤野電気株式会社
さいたま市西区宮前町五一四番地
TEL 〇四八・六二三・三四八五

水廻りの緊急修繕 二四時間対応
㈱深井設備工事
☎048（664）7598

FUJITA
株式会社フジタ 関東支店
常務執行役員 支店長 鈴木 康夫
さいたま市大宮区桜木町一―七―五
〇四八―六五七―一六三〇

火災報知設備・消火設備・テレビ共聴設備
防犯設備、製造、販売、施工、保守
ホーチキ株式会社
北関東支社 さいたま市北区奈良町四八―三
TEL 〇四八―六六五―二〇五七

TOP MATE SCHOOL UNIFORM
Columbine The Guardian of School Life
児島株式会社 関東営業所
さいたま市大宮区上小町1085
TEL(048)642-5883
http://www.netlaputa.ne.jp/~kojima/

心にのこる青春の感動
教育旅行
日本旅行 NIPPON TRAVEL AGENCY
埼玉支店
TEL：048-648-0111

本を作りませんか！
自分史、会社案内、社内報、歌集、句集、画集、写真集
関東図書株式会社
〒336-0021 さいたま市南区別所3-1-10
0120・161092
TEL.048・862・2901
FAX.048・862・2908
http://www.kanto-t.jp
E-mail／info@kanto-t.jp

科学機器・教育機器・事務機器の総合商社
株式会社 雄飛堂
〒330-0841 さいたま市大宮区東町1-54
TEL 048-641-5050
FAX 048-644-0531